



平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月16日

上場取引所 東

上場会社名 アクサホールディングス株式会社
 コード番号 3536 URL <http://www.axas-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 久岡 卓司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 細見 克行
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月16日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 078-335-8844

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	3,337	—	49	—	24	—	114	—
28年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年8月期第1四半期 118百万円 (—%) 28年8月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	3.97	—
28年8月期第1四半期	—	—

※ 当社は、平成28年3月1日設立のため、前年同四半期の数値及び対前年四半期増減率は記載しておりません。
 ※ 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第1四半期	10,409	1,077	10.4	37.20
28年8月期	10,389	1,016	9.8	35.10

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 1,077百万円 28年8月期 1,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	—	—	2.00	2.00
29年8月期	—	—	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 28年8月期期末配当金の内訳 普通配当1円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,237	—	117	—	71	—	141	—	4.89
通期	14,671	3.7	238	52.4	136	130.6	194	—	6.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 当社は、平成28年3月1日設立のため、第2四半期(累計)の対前四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期1Q	32,258,453 株	28年8月期	32,258,453 株
② 期末自己株式数	29年8月期1Q	3,298,000 株	28年8月期	3,298,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期1Q	28,960,453 株	28年8月期1Q	— 株

※ 当社は、平成28年3月1日設立のため、前年同四半期の期中平均株式数(四半期累計)は記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、平成28年3月1日にアクサス株式会社とACリアルエステイト株式会社の共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されたため、平成29年8月期第1四半期(平成27年9月1日から平成27年11月30日)の実績はありません。
- ・本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成28年3月1日にアクセス株式会社（以下「アクセス」といいます。）とACリアルエステイト株式会社（当時株式会社雑貨屋ブルドッグ、以下「ACリアルエステイト」といいます。）が、共同株式移転の方法により両社を完全子会社とする株式移転完全親会社として設立されたため、平成28年8月期第1四半期連結累計期間（平成27年9月1日から平成27年11月30日）の実績値がないため、前年同期との対比は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間（平成28年9月1日から平成28年11月30日まで）のわが国の経済は、中国をはじめとするアジア新興国の所得拡大等でこれまで2桁の伸びを維持してきた訪日外国人客数の増勢に陰りが見え始め、中国の税制変更、円高および訪日外国人の「モノ消費からコト消費へ」といった消費行動の急速な変化等の影響により1人当たりの消費額も大幅に減少し、インバウンド需要が頭打ち傾向となる等の景気を下押しする影響が見られ、また、円高による輸出企業を中心とした企業収益の悪化等で先行き不透明感が強まるとともに、個人消費も社会保険料等の増加に伴う可処分所得の伸び悩みが消費抑制に作用し、消費者の節約志向が高まっている厳しい経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の「生活文化の質的な向上」を美・健康・ゆとりの側面から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値のさらなる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的には、平成28年9月に国内外、ジャンルを問わず「楽しい」をテーマにセレクトした商品を自由気ままに選んでいただけるアレックスコンフォートNU茶屋町プラス（大阪市北区）と、本格的なキャンピングギア・ウェア・バック等を多数取り揃え、フィールドライフをワンランクアップさせるG o G o CAMP（ゴーゴーキャンプ）をデコール川内店（徳島県徳島市）内に併設・運営開始いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、35店舗となりました。

また、販売費及び一般管理費において一時的な追加監査報酬として100万円を支払手数料に計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、売上高は3,337百万円となり、営業利益は49百万円、経常利益は24百万円となりました。固定資産売却益94百万円等の特別利益及び法人税等を加えまして、親会社株主に帰属する四半期純利益は114百万円となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケア事業部では、価格訴求型広告やテーマに沿った季節の商品、話題の新商品やこだわりの商品等の価値や使い方を訴求した商品提案型広告による集客効果で客数が既存店ベースで前期実績より増加・改善いたしました。

ライフスタイル事業部では、食品・ワイン販売の強化や「より身近に、よりカジュアルに」お客様のライフスタイルに寄り添うことをテーマに売場レイアウトを変更したこと等により客単価が増加し、既存店ベースで粗利益高が前期実績を上回りました。

アスレ事業部では、気温の低下と共に冬物衣料等の売上が好調に推移し、アレックススポーツ沖浜店で行ったアクセスクラブカードの会員を対象にした会員セールやアウトレックス2店舗でのテントセールも好調であり売上高、粗利益高および客数が前期実績を上回りました。

アルコ事業部では、主要部門である酒類部門が、近年の健康志向・健康意識の高まりや若者の飲酒離れの影響等により前期より売上高が減少しているものの粗利益率は改善いたしました。食品部門は、女性客をターゲットにした商材やテーマ性を強めた価値提案型の商材が好調に推移したことで売上高、粗利益高ともに前期実績を上回りました。また、11月に世界中のお酒や食品を一堂に集め、試飲試食していただくイベント「AWAフェス」も好調であり粗利益高伸長に寄与いたしました。

ホームキーパー事業部は、広告掲載商品の増加を推進することで、販売促進における効果向上を図り、日用品及びDIY部門等において売上高が昨年を上回り、また、スポーツバイク部門は入門用ロードバイクやクロスバイク、フォールディングバイクの販売が堅調で売上高、粗利益高ともに前期実績を上回りました。しかしながら、高気温が長引いたことや9月の雨天多により主力である園芸用品、家電の季節商品への悪影響が大きく、その他リフォーム部門が低調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は2,423百万円、セグメント利益は117百万円となりました。

②卸売事業

卸売事業につきましては、販売スタッフを前連結会計年度に増員したこと等により、当第1四半期連結累計期間も好調に推移し、特にシャンパンと呼ばれるスパークリングワインが売上高を牽引し、販売を大きく伸ばしました。また、円高時に仕入をした商品が利益に貢献し、粗利益率も大幅に改善いたしました。

これらの結果、売上高は897百万円、セグメント利益は59百万円となりました。

③その他

当セグメントには不動産賃貸事業等の売上高が含まれております。当第1四半期連結累計期間の売上高は83百万円、セグメント利益は26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は10,409百万円（前期末比0.2%増）となり、前連結会計年度に比べ20百万円増加しました。これは主に、現金及び預金92百万円、たな卸資産380百万円等の増加に対し、その他流動資産131百万円、建物及び構築物（純額）168百万円、土地147百万円等の減少によるものであります。

負債合計は9,332百万円（前期末比0.4%減）となり、前事業年度末に比べ40百万円減少しました。これは主に、買掛金88百万円等の増加に対し、未払金39百万円、長期借入金69百万円、受入保証金15百万円等の減少によるものであります。

純資産合計は1,077百万円（前期末比6.0%増）となり、前事業年度末に比べ60百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益114百万円による利益剰余金の増加に対し、配当金の支払64百万円による資本剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は10.4%（前期末比0.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の通期業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）につきましては、当四半期決算短信提出日現在におきまして、平成28年10月17日付「平成28年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表後、平成28年10月28日付「（訂正・数値データ訂正）平成28年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正についてにて訂正を公表した予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結累計期間末のたな卸資産の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当社の連結子会社であるアクセスの前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。なお、当社及び当社の連結子会社であるACリアルエステイト並びにACサポート株式会社（以下「ACサポート」といいます。）の当第1四半期連結累計期間末におけるたな卸資産は存在しません。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、当社及び当社の連結子会社であるアクセス並びにACリアルエステイトの前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、同社の前事業年度の決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しております。なお、当社の連結子会社であるACサポートの当第1四半期累計期間における繰延税金資産及び繰延税金負債の発生はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	997,909	1,090,126
売掛金	452,784	486,108
たな卸資産	3,405,237	3,785,438
預け金	142,048	142,048
繰延税金資産	111,068	111,068
未収還付法人税等	26,859	26,859
その他	265,180	133,554
貸倒引当金	△7,486	△4,298
流動資産合計	5,393,602	5,770,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,437,010	1,268,061
機械装置及び運搬具(純額)	1,401	1,345
什器備品(純額)	161,224	166,714
土地	2,523,850	2,376,005
リース資産	4,175	3,331
建設仮勘定	10,321	9,730
有形固定資産合計	4,137,983	3,825,188
無形固定資産		
借地権	30,296	30,296
ソフトウェア	100,034	90,817
リース資産	3,573	2,818
電話加入権	7,821	7,821
無形固定資産合計	141,726	131,754
投資その他の資産		
投資有価証券	96,069	101,523
敷金及び保証金	588,951	549,490
破産更生債権等	8,591	8,531
その他	34,354	33,947
貸倒引当金	△12,152	△11,724
投資その他の資産合計	715,813	681,768
固定資産合計	4,995,523	4,638,711
資産合計	10,389,126	10,409,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	691,280	780,169
短期借入金	4,800,000	5,780,000
1年内返済予定の長期借入金	1,241,588	256,428
リース債務	45,631	44,155
未払金	254,168	214,624
未払法人税等	15,196	5,237
資産除去債務	6,500	—
賞与引当金	26,300	44,350
ポイント引当金	22,009	21,674
その他	72,021	81,202
流動負債合計	7,174,696	7,227,841
固定負債		
長期借入金	1,685,771	1,616,744
リース債務	28,861	19,008
受入保証金	255,186	239,268
資産除去債務	106,859	107,378
役員退職慰労引当金	7,425	11,137
その他	113,812	110,786
固定負債合計	2,197,916	2,104,323
負債合計	9,372,612	9,332,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金		
資本準備金	—	6,451
その他資本剰余金	3,556,791	1,672,483
資本剰余金合計	3,556,791	1,678,934
利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,451,789	△516,955
利益剰余金合計	△2,451,789	△516,955
自己株式	△164,900	△164,900
株主資本合計	990,102	1,047,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,410	30,374
その他の包括利益累計額合計	26,410	30,374
純資産合計	1,016,513	1,077,453
負債純資産合計	10,389,126	10,409,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	3,337,006
売上原価	2,445,376
売上総利益	891,629
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	282,647
その他	559,038
販売費及び一般管理費合計	841,685
営業利益	49,944
営業外収益	
受取利息	223
その他	4,858
営業外収益合計	5,081
営業外費用	
支払利息	23,477
為替差損	4,986
その他	1,958
営業外費用合計	30,422
経常利益	24,603
特別利益	
固定資産売却益	94,862
特別利益合計	94,862
特別損失	
閉店損失	1,298
特別損失合計	1,298
税金等調整前四半期純利益	118,167
法人税、住民税及び事業税	5,237
法人税等調整額	△1,967
法人税等合計	3,269
四半期純利益	114,897
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,897

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	114,897
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,964
その他の包括利益合計	3,964
四半期包括利益	118,861
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	118,861

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

なお、当社は、平成28年10月12日開催の取締役会において、前事業年度末における個別貸借対照表上の利益剰余金欠損額を補填解消し、機動的かつ柔軟な資本政策を実現することを目的とし、その他資本剰余金をその他利益剰余金に振り替えることを決定いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,818百万円減少し、利益剰余金が1,818百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,423,247	830,560	3,253,807	82,818	3,336,625	381	3,337,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	66,500	66,500	214	66,714	△66,714	—
計	2,423,247	897,060	3,320,307	83,032	3,403,339	△66,333	3,337,006
セグメント利益	117,311	59,039	176,351	26,315	202,666	△152,722	49,944

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△152,722千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

子会社における親会社株式の売却について

当社は、当社連結子会社であるアクセスにおける親会社株式の売却について、平成28年11月29日開催の取締役会において決議のうえ承認いたしました。これに伴い、同日開催のアクセスの取締役会において親会社株式の売却が決定しております。

平成28年12月27日におきまして、アクセスが本件取引を実施し、下記のとおり売却内容が確定しております。

1. 当該子会社の概要

(1) 名称	アクセス株式会社
(2) 所在地	徳島県徳島市山城西四丁目2番地
(3) 代表者の役職氏名	代表取締役社長 久岡 卓司
(4) 事業内容	化粧品、生活雑貨、スポーツギア、アウトドアギア、酒類等の小売及び酒類、化粧品等の輸入卸
(5) 資本金	90百万円

2. 売却内容

(1) 売却した株式の種類	当社普通株式
(2) 売却した株式の総数	742,900株(発行済株式総数に対する割合2.3%)
(3) 売却先	株式会社四国銀行、株式会社阿波銀行
(4) 売却方法	取引所市場(T o S T N e T)による売却
(5) 売却日	平成28年12月27日

3. 売却の理由

会社法第135条(親会社株式の取得の禁止)の規定に基づき、親会社株式(当社株式)を処分するものであります。

また、当社グループの経営の安定化にあたり、中長期的に保有いただける安定株主の確保が、重要な経営課題と認識しており、本件取引を行うことといたしました。

4. 今後の見通し

本株式売却は、当社グループの連結決算上は資本取引となり、損益認識を行わないため、平成29年8月期の業績に与える影響はありません。また、連結決算上、自己株式37百万円が減少し、その他資本剰余金59百万円が増加する見通しであり、その結果、純資産96百万円が増加する見通しであります。

なお、本件取引によりアクセスの保有する親会社株式は、3,298,000株(発行済株式総数に対する割合10.2%)から2,555,100株(発行済株式総数に対する割合7.9%)となり、流通株式数は742,900株増加いたします。引き続き、当該親会社株式の処分を進める方針であります。

固定資産の取得について

当社は、当社連結子会社であるアクセスにおける以下の固定資産の取得について、平成28年12月8日開催の取締役会において決議のうえ承認し、これに伴い、同日開催のアクセスの取締役会において決定しております。

1. 当該子会社の概要

(1) 名称	アクセス株式会社
(2) 所在地	徳島県徳島市山城西四丁目2番地
(3) 代表者の役職氏名	代表取締役社長 久岡 卓司
(4) 事業内容	化粧品、生活雑貨、スポーツギア、アウトドアギア、酒類等の小売及び酒類、化粧品等の輸入卸
(5) 資本金	90百万円

2. 取得資産の内容

資産の内容及び所在地	取得価額	現況
所在地： 兵庫県神戸市中央区伊藤町110番2	725百万円	平成28年12月8日 不動産売買契約締結
土地： 宅地330.57㎡		
建物： SRC9階建て 延床面積1,896.61㎡		

(注) 1. 取得価額は取得に係る諸経費予定額を加算した予定価額を記載しております。

2. 当該取得価額に関しては、平成28年9月9日に第三者機関より不動産鑑定評価書を受領しており、客観性ある評価を基に取得価額を決定いたしております。

3. 取得の理由

本件は、神戸地区での新規拠点ビルの設置及びテナント運用による収益の増加を目的としております。併せて、当社グループの阪神間における、より機動的な管理導線を確保し、店舗網拡大を目的とした事業計画の一環として、本件固定資産を取得することといたしました。

4. 取引先の概要等

取引先は国内にて教育事業を行う非上場の法人でございますが、取引先の意向により開示を控えさせていただきます。

なお、取引先と当社グループの間には、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者への該当状況はありません。

5. 日程

- (1) 取締役会決議日 平成28年12月8日
- (2) 契約締結日 平成28年12月8日
- (3) 物件引渡日 平成28年12月27日

6. 今後の見通し

本件による、平成29年8月期の連結業績に与える影響は軽微であります。また、本件固定資産については、アクセスを賃貸人、本件取引先を賃借人として、取引日から1年間の不動産賃貸借契約を締結しております。